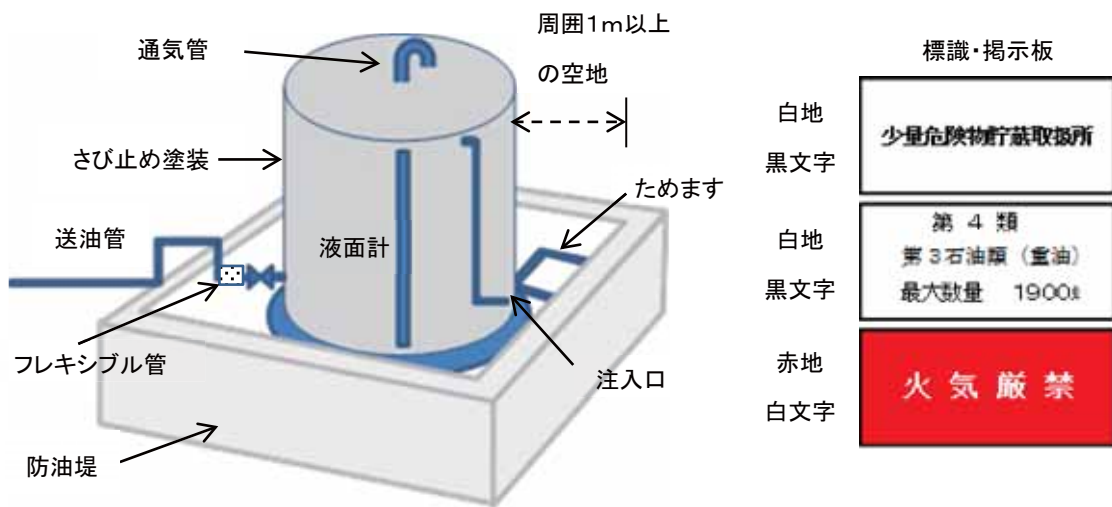


# 【火災予防条例に基づく屋外タンクの設置例】

## ＜主な設置基準＞

- 1 タンクの周囲      タンクの側板から周囲 1 m以上の空地进行を保有すること。
- 2 タンクの固定      コンクリート等の基礎にアンカーボルト等で固定し台風等で倒れないようにする。
- 3 防油堤              ・危険物が浸透しない構造（コンクリート等）とする。  
                              ・容量は、タンクの容量の全量を収納できるものとする。  
                              ・床は、適当な傾斜をつけ、ためますを設ける。
- 4 配 管              鋼製その他の金属又は強化プラスチックとし、タンク結合部はフレキシブル管を使用する。（塩化ビニール管は認められません。）
- 5 標識・掲示板      60 cm×30 cmの「少量危険物貯蔵取扱所」・「危険物の類、品名、最大数量」・「火気厳禁」の標識・掲示板を設ける。



【問い合わせ先】 鹿屋市役所 農林水産課 生産流通係  
電話 0994-31-1117